

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第5号

《研究ノート》

平底円筒形押型文土器に関する一考察
今村 結記

縄文時代の安山岩製スクレイパーについて
桑波田 武志

鹿児島県における古墳時代の鍛冶関連資料の紹介
黒川 忠広

古代から中世における遺構の方向
—農業開発総合センター遺跡群を事例として—
東 和幸

鹿児島県内の平安時代の土器供膳具の様相
—川内平野の資料を中心に—
岩元 康成

赤色顔料の原料採取地を求めて
—鹿児島県上水流遺跡・関山遺跡の例から—
内山 伸明・橋本英樹ほか

トレハロースを用いた木製品の保存処理 (I)
永濱功治・内山伸明・中村幸一郎

鹿児島県の埋蔵文化財調査におけるデジタル技術導入の現状と課題
—埋蔵文化財センターの取り組みを中心に—
馬籠 亮道

埋蔵文化財を活用した授業の展開
國師 洋之

《資料紹介》

豎野冷水窯跡出土遺物の追加報告
—物原 I を中心に—
関 明恵

西ノ平遺跡出土墨書土器
長崎 慎太郎

荘上遺跡出土資料
—その 1—
森 幸一郎

科学分析報告一覧
南の縄文調査室

放射性炭素年代測定集成
内山伸明・園田ひとみ・長野真一

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2012. 3

縄文の森から 第5号

平底円筒形押型文土器に関する一考察 今村 結記	1
縄文時代の安山岩製スクレイパーについて 桑波田 武志	8
鹿児島県における古墳時代の鍛冶関連資料の紹介 黒川 忠広	16
古代から中世における遺構の方向 ―農業開発総合センター遺跡群を事例として― 東 和幸	28
鹿児島県の平安時代の土器供膳具の様相 ―川内平野の資料を中心に― 岩元 康成	37
赤色顔料の原料採取地を求めて ―鹿児島県上水流遺跡・関山遺跡の例から― 内山伸明・橋本英樹・古谷充章・團野瑛章・辻広美・高田潤	47
トレハロースを用いた木製品の保存処理 (I) 永濱功治・内山伸明・中村幸一郎	55
鹿児島県の埋蔵文化財調査におけるデジタル技術導入の現状と課題 ―埋蔵文化財センターの取り組みを中心として― 馬籠 亮道	59
埋蔵文化財を活用した授業の展開 國師洋之	69
〈資料紹介〉 豎野冷水窯跡出土遺物の追加報告 ―物原 I を中心に― 関 明恵	75
〈資料紹介〉 西ノ平遺跡出土墨書土器 長崎 慎太郎	87
〈資料紹介〉 荘上遺跡出土資料 ―その1― 森 幸一郎	95
科学分析報告一覧 南の縄文調査室	99
放射性炭素年代測定集成 内山伸明・園田ひとみ・長野眞一	106

〈資料紹介〉西ノ平遺跡出土墨書土器

長崎 慎太郎

Ink-Inscribed Potteries Excavated in Nishinohira Site

Nagasaki Shintaro

1 はじめに

近年、鹿児島県内での出土墨書土器は増加する傾向にある。県内の墨書土器の出土数は、2001年段階の約70遺跡の700点余から、2011年初頭の段階で約160遺跡の1800点余とこの10年で倍増している。県本土西半に位置する旧薩摩国では、いちき串木野市大里の市ノ原遺跡第1地点と南さつま市金峰町の芝原遺跡で100点超など、墨書土器の出土例が増えている。

また、昭和50年代に発掘調査が行われた薩摩川内市の西ノ平遺跡からも、墨書土器101点が出土していて、本県での墨書土器大量出土遺跡の嚆矢といえる。昭和58年（1983）に刊行された鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書『成岡遺跡・西ノ平遺跡・上ノ平遺跡』（以下「報告書」）では、このうち墨書土器40点を図化し紹介している。今回は、「報告書」未掲載の墨書土器61点について紹介したい。

2 西ノ平遺跡

本遺跡は、鹿児島県薩摩川内市中福良町に所在し、川内市街地の南約3km、JR鹿児島本線隈之城駅の西1kmに位置している。また同市内の川内川右岸側には薩摩国府跡・薩摩国分寺跡が所在する。昭和55年（1980）から昭和57年（1982）に隣接する成岡遺跡・上ノ原遺跡とともに、国道3号線隈之城バイパスの建設に伴う発掘調査がおこなわれた。本遺跡は、川内川左岸の高江山地から南東にのびる丘陵末端部に位置し、標高は22～27mである。丘陵の南側には、川内川支流の隈之城川が東流したのち北流するため、南から東にかけて沖積平野が発達している。

本遺跡からは、特に古代から中世の遺構や多量の遺物が出土している。墨書土器が帰属する古代の遺構・遺物は、調査区の北半を中心に平安時代前期とみられる掘立柱建物跡10棟などと、多量の土師器・須恵器や、硯・焼塩壺・緑釉土器・青磁・白磁・帯金具などが出土している。北半分の遺構群は、平安時代の郡役所の可能性が考えられている。柱穴内遺物から、掘立柱建物跡の6・9・11・12号は平安前期、5・10・13・14号は平安後

期とみられる。これより一段低い南半分の遺構群は、鎌倉時代のもと思われる。近世蒲生郷士山内家の「山内文書」には、この附近にいた郡司と西隣にあった平礼石寺の僧侶が争い、13世紀後半に郡司が追放された記述がみられる。南半分の遺構群は、この郡司の居館跡である可能性が指摘されている。北半分の遺構群は、平安時代の郡役所の可能性が考えられている。また、墨書土器では、「作」「太舎」「高分」「一心」「作器」「日」「小」「支」「子」「万」「上□」「十」などが出土している。南に隣接する成岡遺跡からは、「上」「日」「用」「目」と記された墨書土器が出土している。同市内の九州新幹線や南九州西回り自動車道建設に伴い発掘調査された遺跡からも「舎」「丁」「人」「乙」「高」「与」「吾」や人面墨書が出土している。

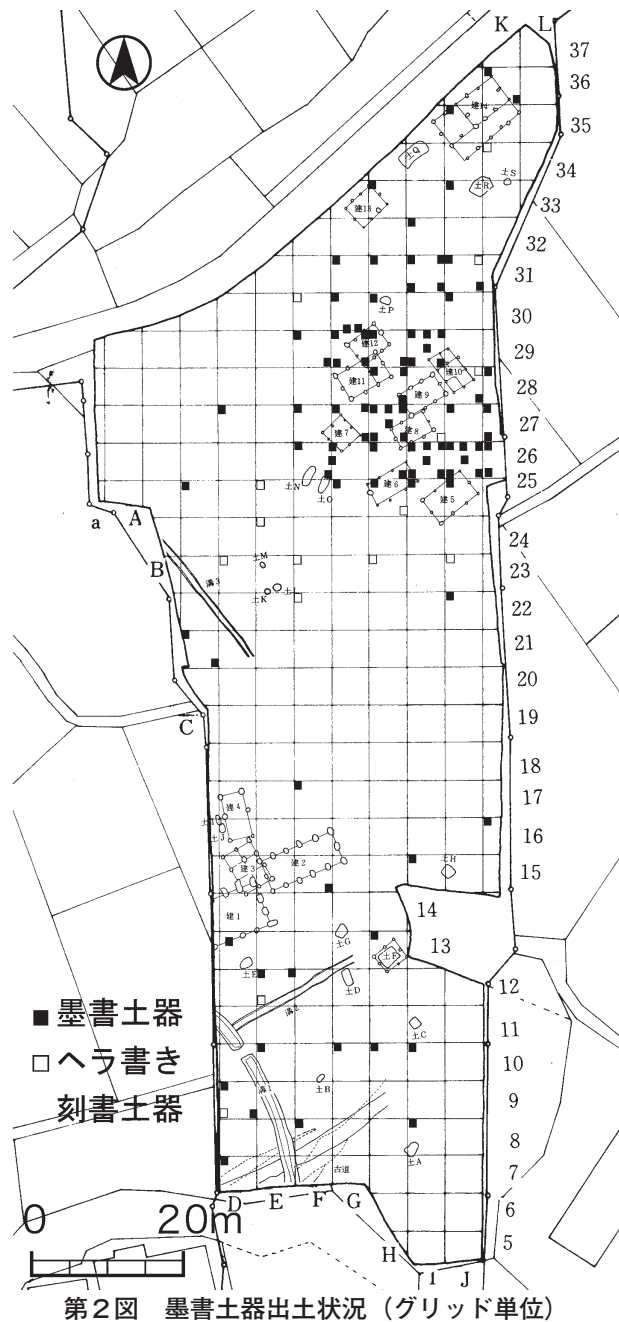


第1図 遺跡の位置図

3 墨書土器

今回は、61点の墨書土器を図化した。墨書土器は、墨で書かれたもの、朱で書かれたもの、刻書土器とヘラ書き土器にわけられる。今回の61点はすべて墨で書かれたものであり、土師器・赤色土器・黒色土器の体部外面・底部内外面に施されている。

第2図は、「報告書」の第187図（西ノ平遺跡グリッド配置図）と第197図・第198図（奈良～鎌倉時代の遺構配置図 南半・北半）に、墨書土器とヘラ書き・刻書土器のグリッド単位での出土状況を重ね合わせたものである。南側の掘立柱建物跡1～4号は鎌倉時代のもので、北側の5～14号は平安時代のものと考えられている。以下に、第2図をもとに墨書土器の出土状況について考えてみた



第2図 墨書土器出土状況（グリッド単位）

い。

調査区北側の22～37区では、墨書土器とヘラ書き土器・刻書土器で出土位置の違いがあることを看取できる。この範囲の出土数は墨書土器78点、ヘラ書き・刻書土器13点になり、墨書土器の出土数が85%と他を圧倒している。この傾向は西ノ平遺跡全体の墨書土器出土数87%とほぼ一致する。一方、ヘラ書き・刻書土器は全体の15点中13点がこのエリアに集中することになる。この範囲内には、F～J-24～30区に古代の掘立柱建物跡集中エリアがあり、少し離れて北側に掘立柱建物跡2棟が検出されている。墨書土器は掘立柱建物跡集中エリアで密に出土し、北側の掘立柱建物との間に散布し、北側に向かって疎になる傾向が看取できる。調査区南側の5～17区では、D～G-13～17区に鎌倉時代の掘立柱建物群、D～H-5～13区に溝状遺構が検出されている。墨書土器は、掘立柱建物跡エリアからはほとんど検出されずピット内検出の1点のみであり溝状遺構の周辺に散布するなどの北側との違いを看取できる。以上のことから、墨書土器は北側の掘立柱建物群とその北隣が使用の場で、ヘラ書き・墨書土器は北側の掘立柱建物群の南隣が使用の場であることが想定される。

4 おわりに

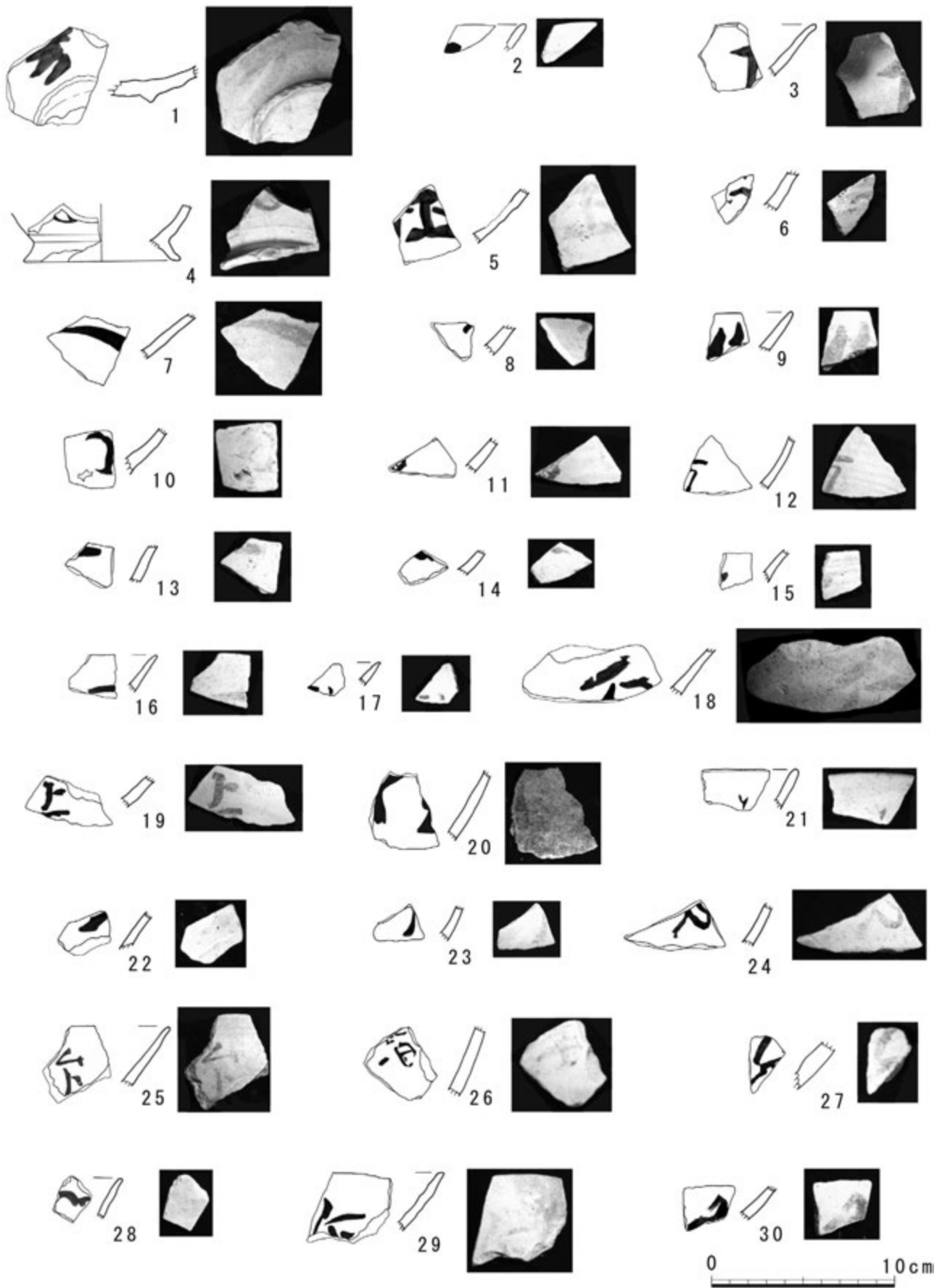
以上、西ノ平遺跡の出土墨書土器のうち未報告の61点の資料化とその出土状況についてまとめてみたが、資料が土師器の小片であり、遺構の時期差との関係など不明な点も数多く特徴を明確にするには至っていない。しかしながら、これらの資料が、本県の墨書土器および古代史研究のための一助となれば幸いである。

なお、本稿の作成にあたっては、文字・記号の釈読について永山修一氏（ラ・サール学園教諭）の御教示をいただいた。感謝の意を表したい。

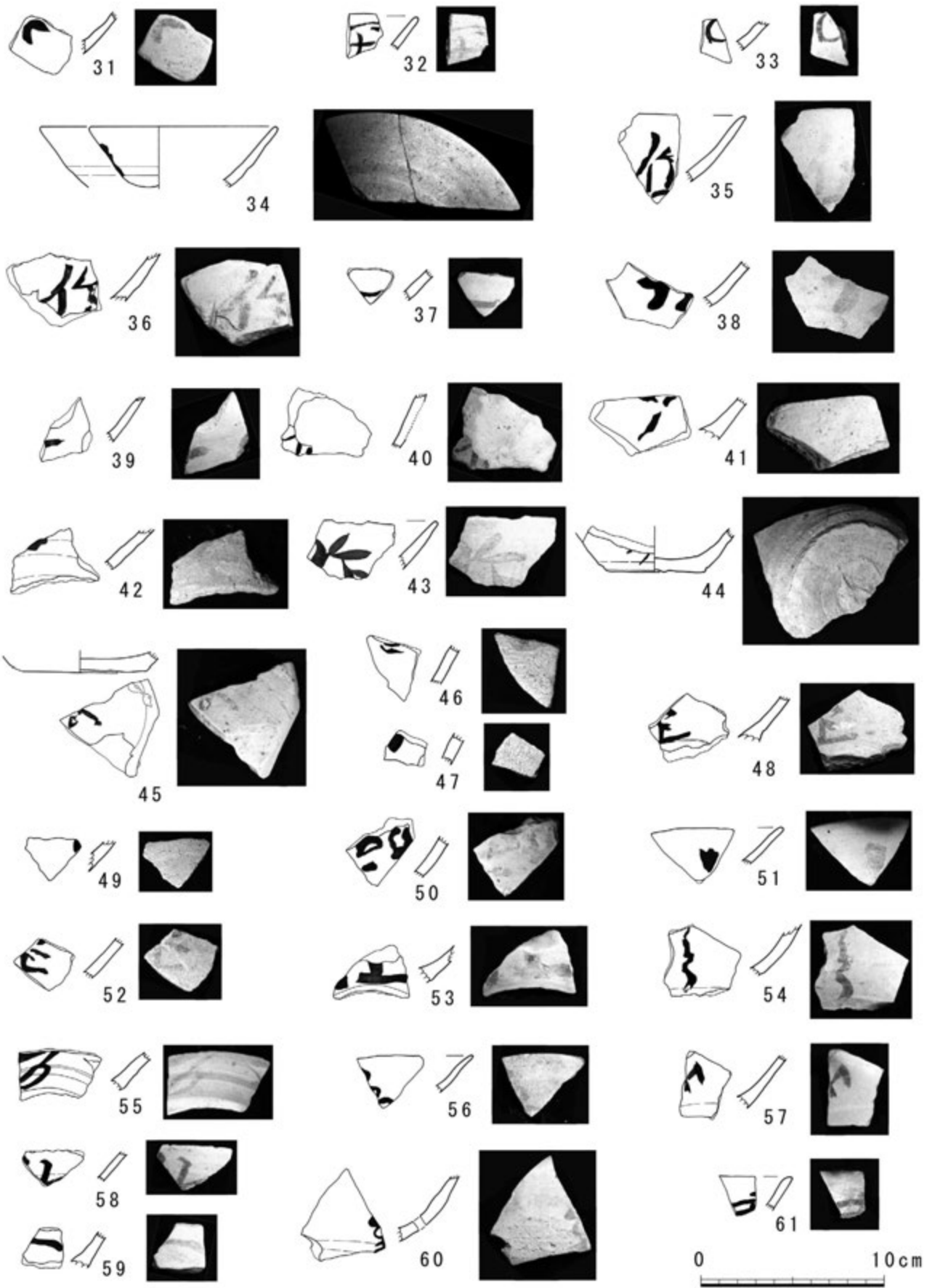
【引用・参考文献】

- 池畑耕一ほか 1983『成岡・西ノ平・上ノ原遺跡』鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書28 鹿児島県教育委員会
- 柴田博子・永山修一 2010『日向国出土墨書土器集成・補遺（2）・薩摩国出土古代墨書土器集成』
- 池畑耕一 1986「西ノ平遺跡と薩摩郡衙（上・下）」『隼人文化第16・18号』隼人文化研究会
- 五味克夫 1977「薩摩国平礼石寺と守護・地頭・郡司の関係―旧期雑録前編所収山内文書について―」『鹿児島中世史研究会報第37号』鹿児島中世史研究会

※第3・4図中の写真は、墨書の鮮明化のために、赤外線撮影の画像データにフォトタッチソフトで色調の調整を加えている。



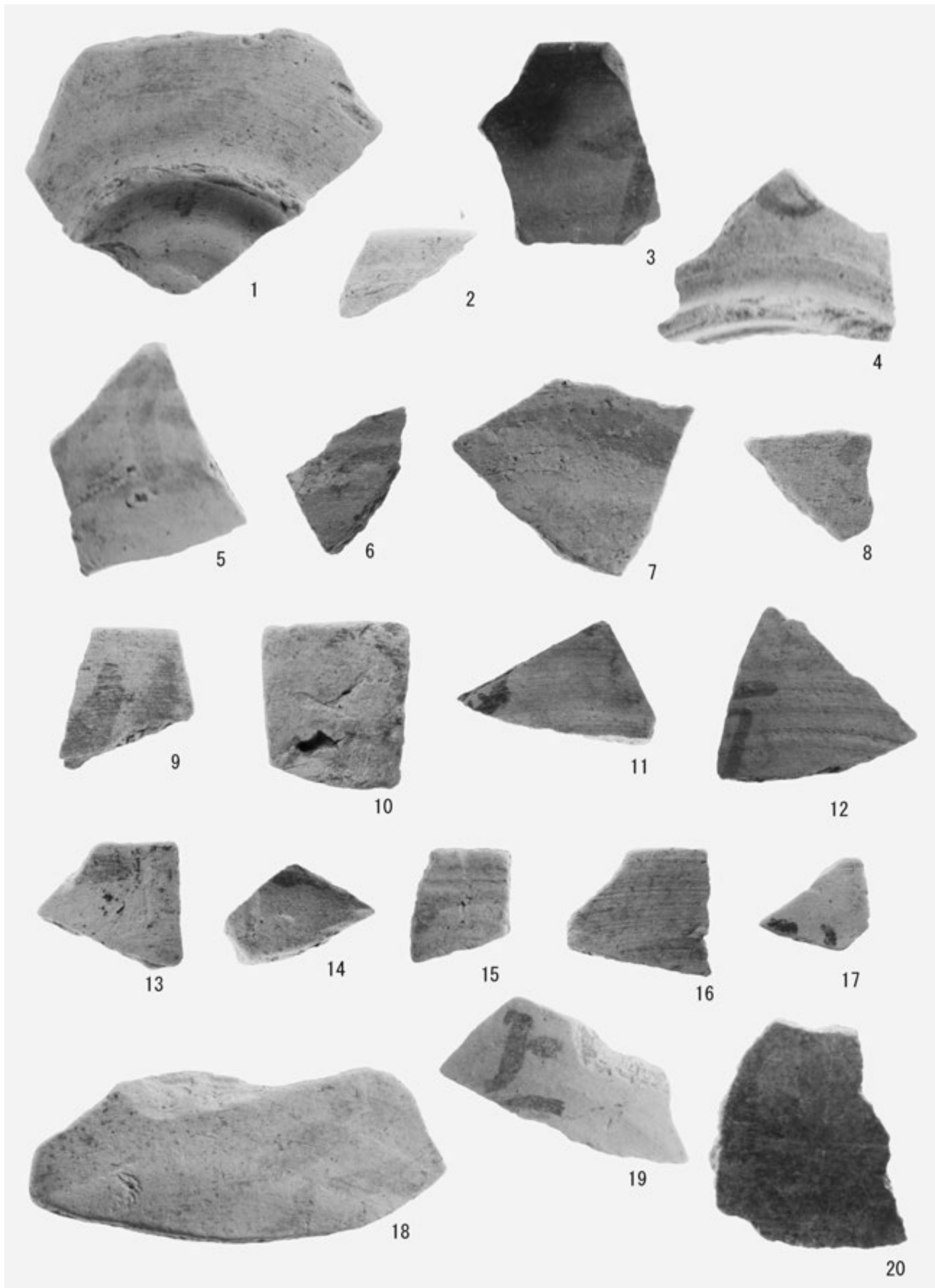
第3図 関連資料実測図(1)



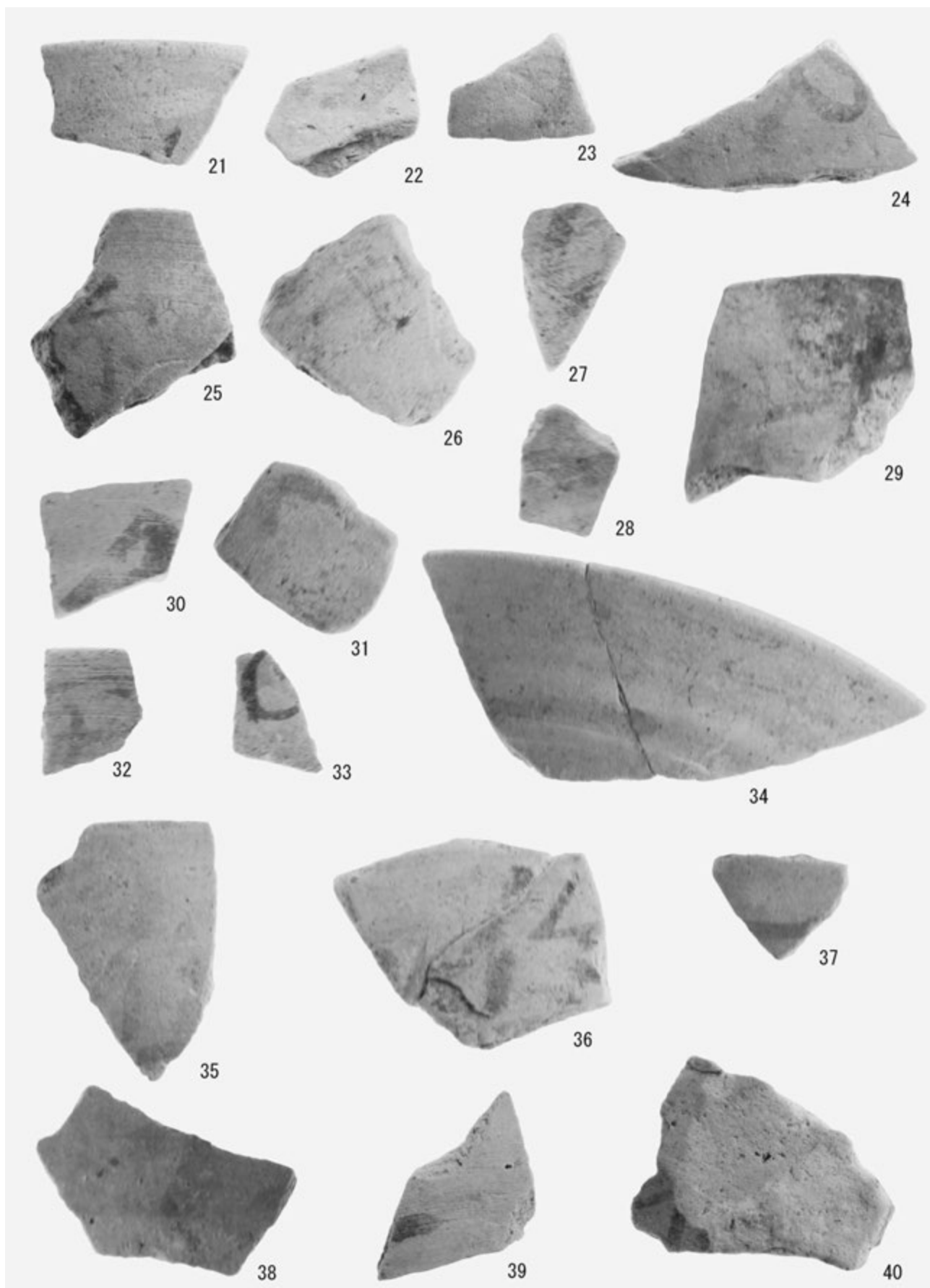
第4図 関連資料実測図(2)

第1表 関連資料観察表

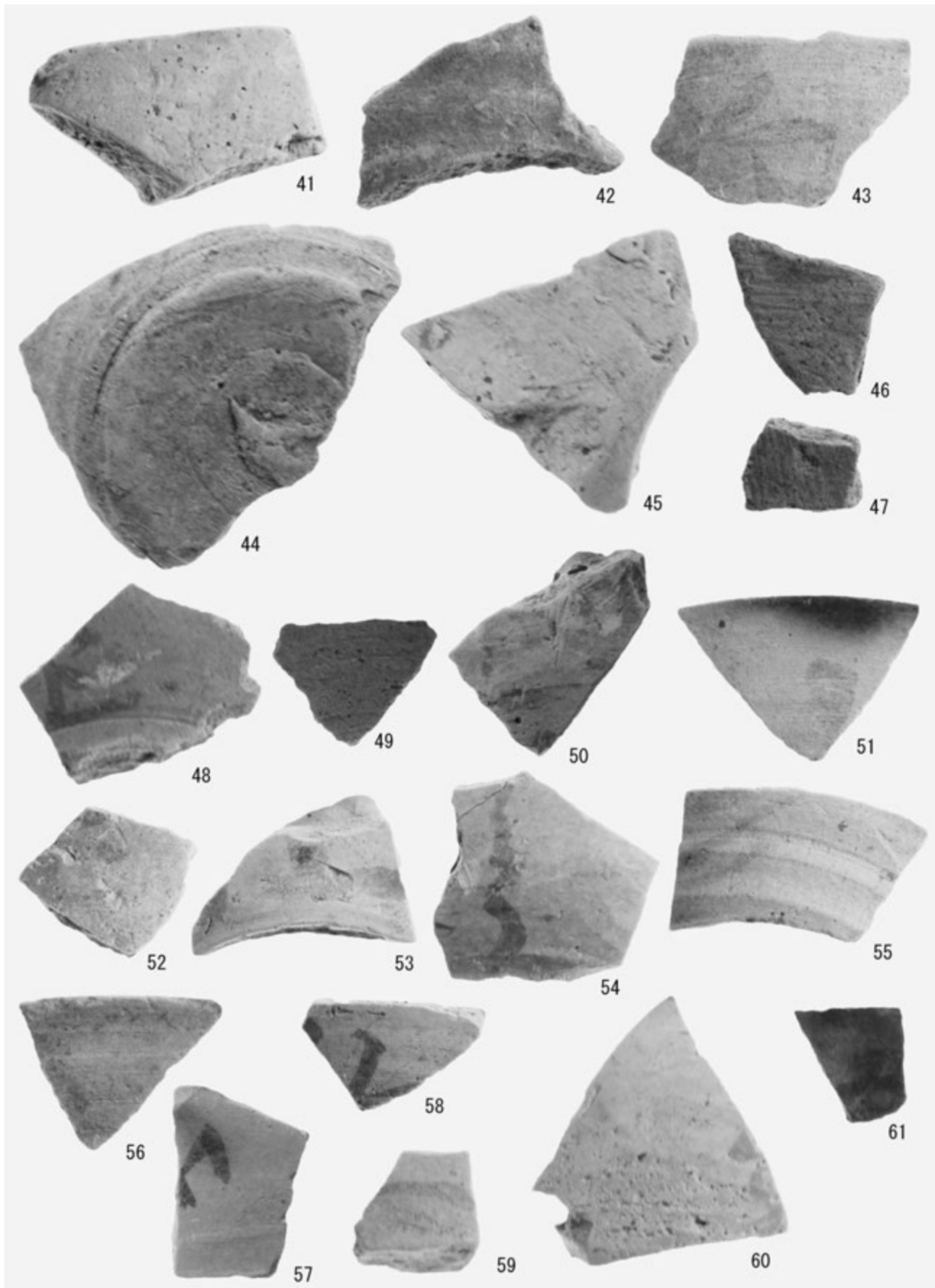
遺物No	器種	器形	出土区	層位	遺構	文字	記載法	記載部位	記載向き	備考
1	土師器	椀	K-26	II		万	墨書	体部外面	正位	
2	土師器	椀	-	-		□	墨書	体部外面		
3	土師器	椀	G-27	II		□	墨書	体部外面		
4	土師器	椀	H-26	II		□	墨書	体部外面		
5	土師器	椀	G-27	II		作	墨書	体部外面	正位	
6	土師器	椀か坏	K-26	II		□	墨書	体部外面		
7	土師器	椀か坏	H-25	II		□	墨書	体部外面		
8	土師器	椀か坏	I-25	II		□	墨書	体部外面		
9	土師器	椀か坏	I-26	II		作	墨書	体部外面	正位	
10	土師器	椀か坏	I-26	II		□	墨書	体部外面		
11	土師器	椀か坏	H-27	P5	P5	□	墨書	体部外面		
12	土師器	椀か坏	J-26	II		□	墨書	体部外面		
13	土師器	椀か坏	J-26	II		□	墨書	体部外面		
14	土師器	椀か坏	J-26	II		□	墨書	体部外面	正位	
15	土師器	椀か坏	J-27	II		□	墨書	体部外面		
16	土師器	椀か坏	J-28	II		□	墨書	体部外面		
17	土師器	椀か坏	G-29・30	II		□	墨書	体部外面		
18	土師器	椀か坏	I-31	I		作	墨書	体部外面	正位	
19	土師器	椀か坏	H-30	II		上	墨書	体部外面	正位	
20	土師器	椀か坏	E-25	I		□	墨書	体部外面		
21	土師器	椀か坏	J-30	II		□	墨書	体部外面		
22	土師器	椀か坏	J-31	P3	P3	□	墨書	体部外面		
23	土師器	椀か坏	G-29	II		□	墨書	体部外面		
24	土師器	椀か坏	K-28	II		作カ	墨書	体部外面	正位	
25	土師器	椀か坏	I-26	II		作カ	墨書	体部外面	正位	
26	土師器	椀か坏	D-10	I		□	墨書	体部外面		
27	土師器	椀か坏	E-10	I		□	墨書	体部外面		
28	土師器	椀か坏	K-26	II		□	墨書	体部外面		
29	土師器	椀か坏	H-26	II		作	墨書	体部外面	正位	
30	土師器	椀か坏	H-25	II		□	墨書	体部外面		
31	土師器	椀か坏	H-28	II		□	墨書	体部外面		
32	土師器	椀か坏	G-10	Ⅲ直上		□	墨書	体部外面		
33	土師器	椀か坏	D-9	Ⅲ直上		日カ	墨書	体部外面		
34	土師器	椀か坏	J-26	II		□	墨書	体部外面		
35	土師器	椀か坏	I-26	II		作	墨書	体部外面	正位	
36	土師器	椀か坏	FG-26	I		作	墨書	体部外面	正位	
37	土師器	椀か坏	G-25	II		□	墨書	体部外面		
38	土師器	椀か坏	E-10	I		作カ	墨書	体部外面	正位	
39	土師器	坏	K-26	II		□	墨書	体部外面		
40	土師器	坏	G-35	II		□	墨書	体部外面		
41	土師器	坏	G-29	II		□	墨書	体部外面		
42	土師器	坏	G-29	II		□	墨書	体部外面		
43	土師器	坏	H-27	II		作	墨書	体部外面	正位	
44	土師器	坏	H-27	II		□	墨書	体部外面	正位	
45	土師器	坏	I-8	P4	P4	□	墨書	底部外面		
46	土師器	甕	K-36	II		□	墨書	体部外面		
47	土師器	甕	---	-		□	墨書	体部外面		
48	内外赤土師器	椀か坏	J-26	II		作カ	墨書	体部外面	正位	
49	内黒土師器	椀か坏	J-26	II		□	墨書	体部外面		
50	内黒土師器	椀か坏	E-17	II		器カ	墨書	体部外面		
51	内黒土師器	椀か坏	I-29	II		□	墨書	体部外面		
52	内黒土師器	椀か坏	G-29	II		作カ	墨書	体部外面		
53	内黒土師器	椀か坏	C-25	II			墨書	体部外面	正位	
54	内黒土師器	椀か坏	J-25	P6		□	墨書	体部外面		
55	内黒土師器	椀か坏	FG-26	II		万	墨書	体部外面	正位	
56	内黒土師器	椀か坏	D-13	建1	P4	作カ	墨書	体部外面		掘立柱建物跡1のP4
57	内黒土師器	椀か坏	H-13	P	P	□	墨書	体部外面		
58	内黒土師器	椀か坏	H-27	II		作カ	墨書	体部外面	正位	
59	内黒土師器	椀か坏	I-31	II		□	墨書	体部外面		
60	内黒土師器	椀か坏	D-17	II		□	墨書	体部外面		穿孔あり
61	内黒土師器	椀か坏	F-15	P4	P4	□	墨書	体部外面		



写真図版1 関連資料(1)



写真図版2 関連資料(2)



写真図版3 関連資料(3)

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要 **縄文の森から** 第5号

発行年月 2012年3月
編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-48-5811
E-mail minami@jomon-no-mori.jp
URL <http://www.jomon-no-mori.jp>
印刷 (有) 国分新生社印刷
〒899-4301
鹿児島県霧島市国分重久 627-1
